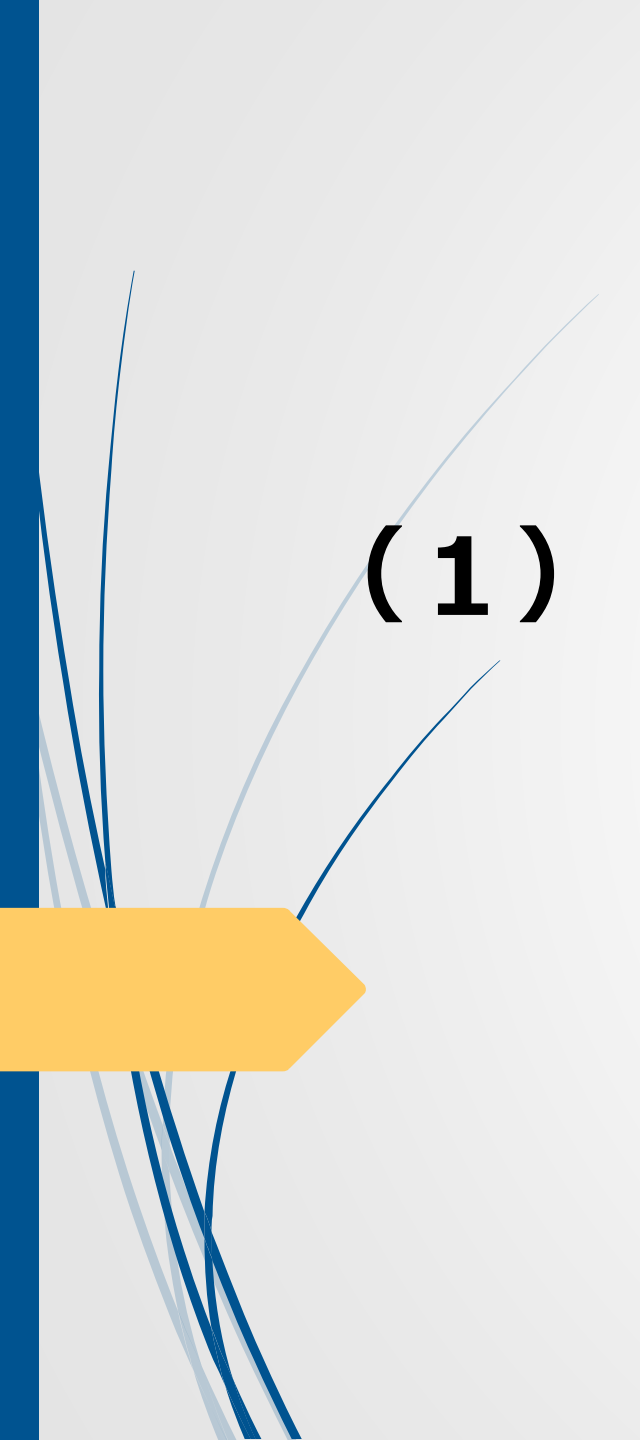


# とやまDXパートナー向け説明会

令和8年6月19日（金） 13:30～14:00



# **(1) とやまDXパートナーについて**

**とやまDXコンソーシアム事務局**

# とやまDXパートナー制度の概要

## ① 目的

- ・ 企業のDX課題に応じて専門的な助言や技術支援を提供できる事業者を「とやまDXパートナー」として登録・公表
- ・ 県内企業が自社の状況に合った支援者を選びやすい環境を整備
- ・ パートナーと連携しながら、**県内企業のデジタル化・DXの実効性を高め、着実に前進させる仕組み**を構築

## ② 役割

- ・ 企業にとっての「**身近な相談相手**」としてDX推進を継続的にサポート
- ・ 専門的な助言・提案を通じて、企業の課題整理、計画策定を支援
- ・ 補助金の活用も含めて計画の実行・定着を支援
- ・ 「**DXの裾野を広げていく担い手**」として支援事例を積み重ね、発信・横展開

# とやまDXパートナーを活用したDX支援

## マッチング方法は主に2つあります

### ① 企業から直接パートナーへ連絡する方法

とやまDXコンソーシアムWebサイトに掲載しているDXパートナー一覧をご確認いただき、企業様からパートナーへ直接ご連絡いただくことで支援の相談・マッチングを行うことができます。

### ② デジタル化相談窓口を通じて紹介する方法

富山県新世紀産業機構（TONIO）の**デジタル化相談窓口**にご相談いただくと、DX総合アドバイザーが企業の課題を整理したうえで、課題に適したDXパートナーを**複数社ご紹介**します。



**DXパートナーによる支援**

# なぜとやまDXパートナーの支援が必要なのか

## ① DXは「システム導入」だけでは進まないため

DXは単なるIT導入ではなく、「業務の見直し」「課題の整理」「導入後の活用」まで含めた取組が重要です。

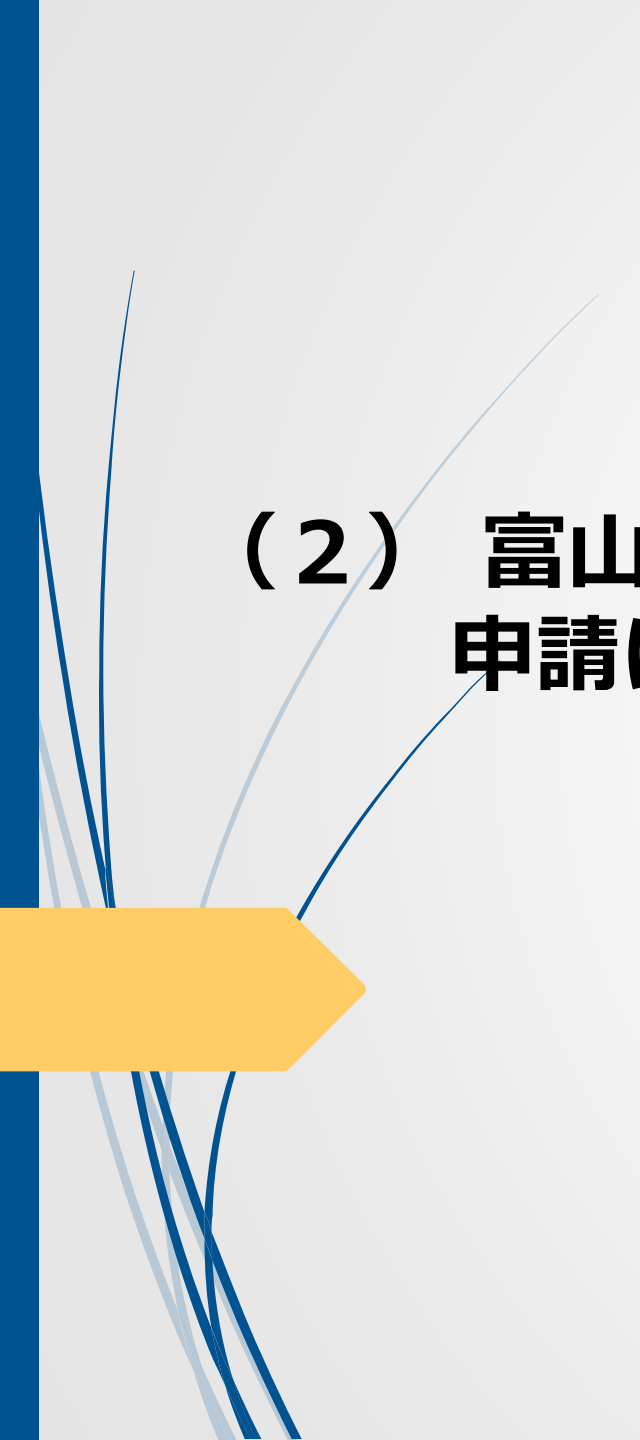
## ② 専門的な知見による支援を受けるため

DXパートナーは、ITベンダーやコンサルタント等、企業のDX推進を支援できる専門事業者です。

課題整理から導入まで、**専門的な支援**を受けることができます。

## ③ 取組の実効性を高めるため

専門事業者と連携することで、「課題に合った取組みの実施」「計画的なDX推進」「導入後の定着」につながることを期待しています。 5



## **（２） 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金 申請におけるパートナーの役割と期待すること**

**富山県商工労働部地域産業振興室経営支援課**

# 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金 におけるパートナーの役割と期待すること

## 補助金の概要

- 物価高や人手不足など厳しい事業環境に直面している事業者を対象に、
- ・ 人手不足へ対応するための省力化・省人化による生産性向上を図る取組み
  - ・ 自社の課題解決及び競争力強化のため、D XやG Xを通して業務プロセス・事業構造の変革や最適化を図る意欲的な取組み
- を支援するもの

## 第3次募集からの変更点（一部）

**「とやまDXパートナー」に登録されたITベンダー等と協力して申請することが必要【GX枠を除く】**

# 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金 におけるパートナーの役割と期待すること

## 県内企業における現状と補助金の目的

個別企業において「デジタル化・DX」の必要性は認識しつつも  
DXを推進する人材やノウハウの不足

「とやまDXパートナー」から専門的な助言・提案  
個々の企業の取組状況や課題・ニーズに応じた段階的な支援

県内企業における省力化・省人化による生産性向上  
DXを通じた業務プロセス・事業構造の変革や最適化

×単なるIT機器の導入 ×DX自体が目的化

# 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金 におけるパートナーの役割と期待すること

## パートナーの役割

課題整理 → 提案 → 導入 → 運用定着 まで企業を一貫して支える役割

- ×申請書作成業務の支援
- ×IT機器の導入にとどまる支援

これまでの支援実績・強みを活かし、  
支援先企業の課題や特徴に応じた支援を実施

# 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金 におけるパートナーの役割と期待すること

## パートナーに期待すること

課題整理 → 提案 → 導入 → 運用定着 まで企業を一貫して支える役割



### 内容

- ・ 現状分析
- ・ 課題整理

- ・ 導入支援
- ・ 活用支援

- ・ 効果測定、評価

### 想定される支援

- ・ ヒアリング等による現状把握
- ・ 課題となっている部分の可視化や客観的な指標を用いた分析
- ・ 目標の設定

- ・ 機器導入に伴う既存システムおよび業務フローの見直し・調整
- ・ 操作研修やセキュリティ対策

- ・ 継続的な運用のためのフォローアップ
- ・ 改善に向けた支援



# とやまDXパートナー向け説明会 (3)事例紹介

令和8年6月19日(金) 13:30~14:00

(公財)富山県新世紀産業機構

# 目次

- ① DXとは？
- ② 事例紹介
- ③ 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金の  
申請におけるポイント

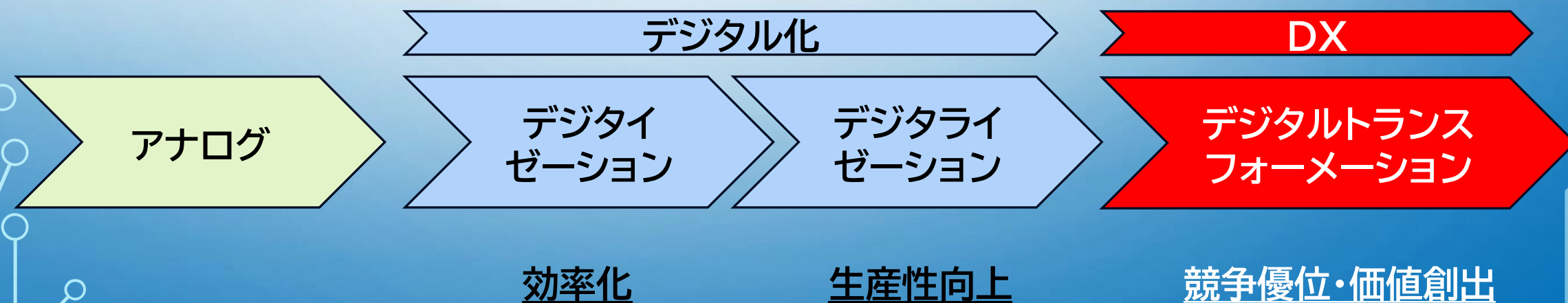
# ① DXとは？（1/2）－定義とフェーズ－

経済産業省の『デジタル・ガバナンスコード3.0』で、DXは次のとおり定義されています。

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、**データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立**すること。」

デジタル技術やツールを導入すること自体ではなく、

- 👉 データやデジタル技術を活用して、**顧客目線で新たな価値を創出**していくこと
- 👉 ビジネスモデルや組織の変革に取り組み、**競争上の優位性を確立**すること



# ① DXとは？（2/2）－支援プロセス－

・事業者がどのフェーズにいて、どのような支援が必要かを見極めることが大切。



（出典：経済産業省『DX支援ガイダンスーデジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチー』）

## ② 参考事例(1/2) — 飲食業 —

※あくまで一例です。  
同様の事業内容で補助金の申請をされた場合に、  
採択を保証するものではありません。

### 事業者の概要

- ・店主と従業員数名でラーメン屋を経営している。
- ・注文は食券スタイルで、看板商品は味噌ラーメン。
- ・オフィス街にあり、最寄り駅からは徒歩5分圏内。
- ・客層、注文、混雑具合などは、主に曜日、時間帯、天気によって左右されるが、現状の具体的な把握や改善は検討できておらず、漠然と悩んでいる。



### 想定される「とやまDXパートナー」による支援

- ・課題の洗い出しや整理、現状分析
- ・経営戦略、DX戦略、DX推進ロードマップの策定
- ・ツール提案

「DX推進に向けた“準備”段階」に対する支援

### 1. 意思決定

#### 課題の洗い出しや整理

△事業者が思っている課題

- ① 客足が減った
- ② 人手不足
- ③ 売上が伸びない など

◎構造的な課題に目を向け整理

- ① 味？差別化？マーケティング？
- ② シフト管理？業務過多？
- ③ 客単価？回転率？常連？

#### 現状分析

例：外部環境分析、内部分析、顧客分析 など

#### 経営ビジョン

例：働く人の日常インフラとしてのラーメン屋

#### 経営戦略・DX戦略の策定

従来 「売上＝客単価×座席×回転数」のみのビジネス

今後 「常連から稼ぐ」「ランチ以外の売上を作る」「法人顧客化」の3本柱で差別化を図り、新たな価値を創出するビジネス

### 2. 全体構想・意識改革

#### DX推進ロードマップ

◎目指すべきゴールとその達成に向けた道筋を、時系列で明確にする

例：「常連から稼ぐ」のゴールイメージ ⇒ KPI設定

- A LINE(やアプリ)で「並んで食べる」から「待たずに食べる」へ
- B サブスクで顧客管理&ファン化&固定収益化

○年○月(○か月) LINE(やアプリ)導入、顧客データ取得

○年○月(○か月) サブスク内容検討、事前注文プレ開始

○年○月(○か月) サブスク・会員クーポン開始、事前注文開始

○年○月(○か月) ミニアンケート配信、限定商品の開発

#### ツール提案

◎「システムを使って何かできないか」ではなく、「理想と現状の差分は何か、差分をどう解消するか」という視点で、設備投資を提案する

## ② 参考事例(2/2) – 建設業 –

※あくまで一例です。  
同様の事業内容で補助金の申請をされた場合に、  
採択を保証するものではありません。

### 事業者の概要

- ・従業員100名程度でインフラ(道路、電気)の設計や施工を得意としている。
- ・**DX戦略は策定済**だが、**実際にどう進めていけばよいか悩んでいる。**  
⇒「作る」から「守る」ビジネスへ / 「壊れてから」ではなく「壊れる前に」  
インフラを作るだけではなく、完成後の点検・保守契約でストック型の収益  
モデル構築を目指す(ただ建てる会社ではなく資産を守る会社へ)

### 想定される「とやまDXパートナー」による支援

- ・業務プロセス、業務フロー、組織の見直し
- ・ツール導入、データの活用や分析
- ・運用定着、改善の支援やブラッシュアップ

「DX推進に向けた“実行”段階」に対する支援

### 3. 本格推進

#### 業務プロセス・業務フローの見直し

- ◎業務プロセスと業務フローの違いを理解したうえで、見直しや改善を図る

業務プロセス 例:設計→施工→監視→分析→保守提案  
業務フロー 例:監視で異常を発見した際の対応マニュアル

#### ツール導入

- ◎単なるIT導入サポートではなく、実際の業務で使われ続ける状態を目標として、要件定義やシステム選定をする

### 4. DX拡大・実現

#### 定着支援・従業員教育

- ◎「使い続ける仕組みづくり」と「使いこなせるスキルづくり」が大切

例:「便利だから使う」ではなく「使わないと業務が回らない」設計に  
「ITスキル教育」だけではなく「業務+意味+ツール」をセットで  
現場と経営の橋渡し、レビュー、成功事例の横展開

#### 新たな価値

- ・「人による点検や判断」から「データによる監視と意思決定」へ**変革**  
⇒「安心・安全の提供」「判断の質向上」「予測性」「透明性」「継続性」

### まとめ

- 👉 事業者の表面的な要望に応じるだけの「御用聞き」ではなく、事業者と同じ目線で考え成果が出るまで一緒に取組む「伴走支援」が支援の本質
- 👉 事業者にとってどの段階の支援が有効かを見極め、最終的には自走できるような支援を心がけることが大切

### ③ 富山県中小企業トランスフォーメーション補助金の申請におけるポイント

💡 公募要領の大事なポイントをしっかり押さえる

⇒ 手引き「審査ポイント」、別紙1「補助対象経費」、Q&A etc

💡 ホームページを“こまめに”チェックする

⇒ 最新情報、お得な情報アップデートできていますか？

例 『DX枠の留意点』『よくある質問』『参考リンク』 etc